

財務状況把握の結果概要

近畿財務局神戸財務事務所

(対象年度:平成29年度)

◆対象団体

都道府県名	団体名
兵庫県	加古川市

◆基本情報

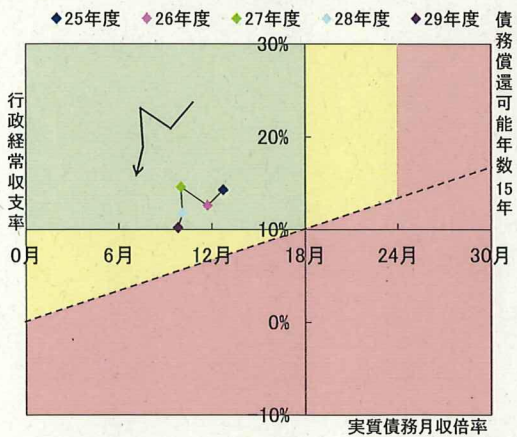
財政力指数	0.90	標準財政規模(百万円)	48,406
H30.1.1人口(人)	267,151	平成29年度職員数(人)	1,592
面積(Km ²)	138.48	人口千人当たり職員数(人)	6.7

(単位:千人)

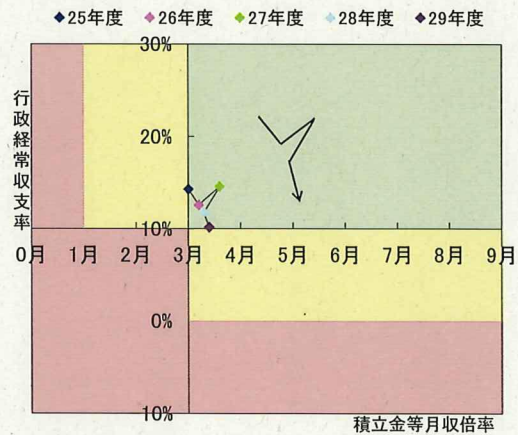
	総人口	年齢別人口構成						産業別人口構成					
		年少人口 (15歳未満)	構成比	生産年齢人口 (15歳~64歳)	構成比	老年人口 (65歳以上)	構成比	第一次産業 就業人口	構成比	第二次産業 就業人口	構成比	第三次産業 就業人口	構成比
17年国調	267.1	40.6	15.2%	179.3	67.1%	44.6	16.7%	1.4	1.1%	41.0	33.9%	76.9	63.5%
22年国調	266.9	39.3	14.7%	172.2	64.6%	55.1	20.7%	1.0	0.9%	38.1	33.3%	75.2	65.8%
27年国調	267.4	36.7	13.8%	163.2	61.2%	66.8	25.1%	1.0	0.9%	39.2	33.8%	75.9	65.4%
27年国調	全国平均		12.6%		60.7%		26.6%		4.0%		25.0%		71.0%
	兵庫県平均		12.9%		60.0%		27.1%		2.1%		26.0%		71.9%

◆ヒアリング等の結果概要

債務償還能力



資金繰り状況



債務高水準	積立低水準	収支低水準	該当なし
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
【要因】	【要因】	【要因】	
建設債	建設投資目的の取崩し	地方税の減少	
実質的な債務	資金繰り目的の取崩し	人件費の増加	
債務負担行為に基づく支出予定額	積立原資が低水準	物件費の増加	
公営企業会計等の資金不足額	その他	扶助費の増加	
土地開発公社に係る普通会計の負担見込額		補助費等・繰出金の増加	
第三セクター等に係る普通会計の負担見込額		その他	
その他			

◆財務指標の経年推移

<財務指標>

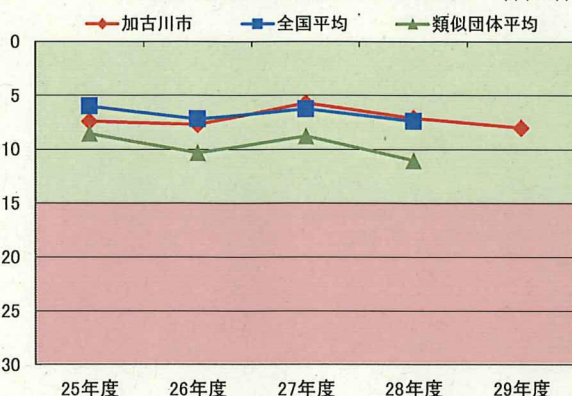
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
債務償還可能年数	7.4年	7.7年	5.7年	7.1年	8.0年
実質債務月収倍率	12.7月	11.7月	10.0月	10.1月	9.8月
積立金等月収倍率	3.0月	3.2月	3.6月	3.3月	3.4月
行政経常収支率	14.3%	12.6%	14.6%	11.8%	10.2%

類似団体区分
特例市

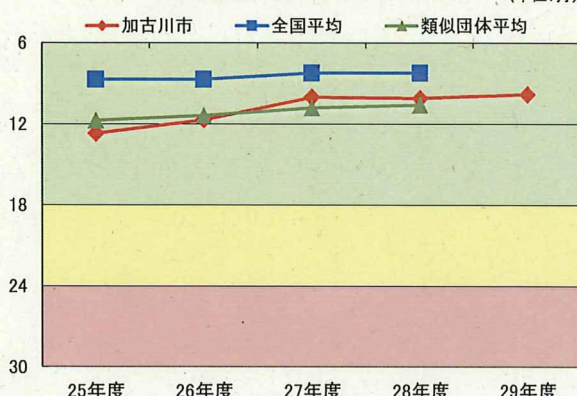
類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 兵庫県 平均値
11.0年	7.4年	11.1年
10.6月	8.2月	11.6月
2.6月	7.5月	5.1月
9.5%	12.7%	11.3%

※平均値は、いずれも28年度

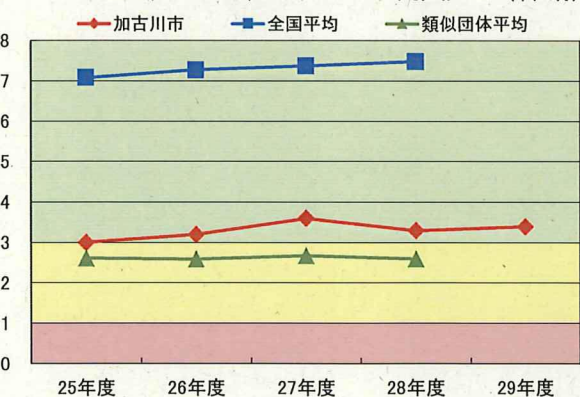
債務償還可能年数5カ年推移 (単位:年)



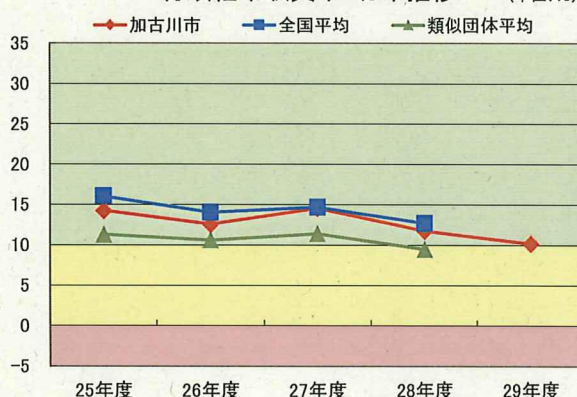
実質債務月収倍率5カ年推移 (単位:月)



積立金等月収倍率5カ年推移 (単位:月)



行政経常収支率5カ年推移 (単位:%)

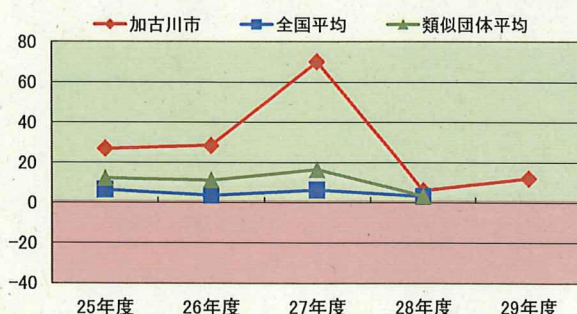


<参考指標>

健全化判断比率	(29年度)		
	加古川市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.28%	20.00%
連結実質赤字比率	-	16.28%	30.00%
実質公債費比率	3.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-	350.0%	-

基礎的財政収支(プライマリー・バランス)5カ年推移

(単位:億円)



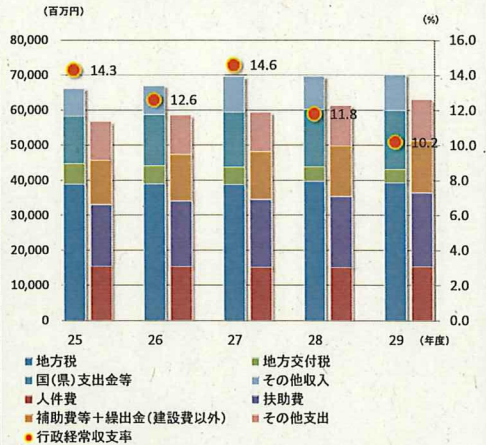
※ 基礎的財政収支 = [歳入 - (地方債 + 繰越金 + 基金取崩)]
 - [歳出 - (公債費 + 基金積立)]
 ※ 基金は財政調整基金及び減債基金
 (基金積立には決算剰余金処分による積立額を含まない。)

※1. 債務償還可能年数について、分子(実質債務)が0以下となる場合は「0.0年」を表示する。分子(実質債務)が0より大きく、かつ分母(行政経常収支)が0以下となる場合は空白で表示する。
 ※2. 右上部表中の平均値については、各団体の28年度計数を単純平均したものである。
 ※3. 上記グラフ中の「類似団体平均」の類型区分については、28年度の類型区分による。
 ※4. 平均値の算出において、債務償還可能年数と実質債務月収倍率における分子(実質債務)がマイナスの場合には「0(年・月)」として単純平均している。

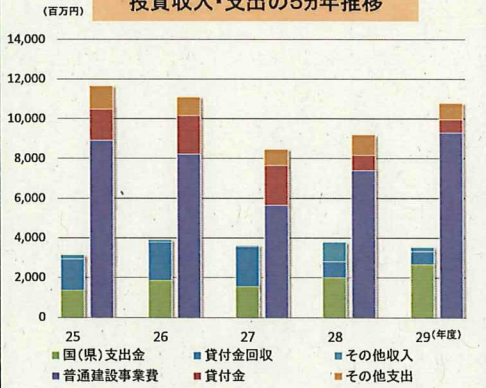
◆行政キャッシュフロー計算書

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	構成比	(百万円)	
							28年度	構成比
■行政活動の部■								
地方税	38,967	38,994	38,849	39,785	39,430	56.1%	40,244	52.3%
地方譲与税・交付金	4,014	4,420	6,289	5,560	6,037	8.6%	5,633	7.3%
地方交付税	5,762	5,136	4,922	4,093	3,708	5.3%	7,692	10.0%
国(県)支出金等	13,494	14,615	15,662	16,336	16,886	24.0%	19,087	24.8%
分担金及び負担金・寄附金	1,731	1,734	1,928	1,806	2,212	3.1%	1,163	1.5%
使用料・手数料	1,978	1,863	1,686	1,717	1,762	2.5%	2,012	2.6%
事業等収入	196	207	257	265	200	0.3%	1,066	1.4%
行政経常収入	66,142	66,968	69,593	69,562	70,236	100.0%	76,897	100.0%
人件費	15,550	15,414	15,192	15,169	15,418	22.0%	14,549	18.9%
物件費	9,168	9,471	9,523	9,964	10,305	14.7%	12,422	16.2%
維持補修費	720	689	812	846	860	1.2%	1,186	1.5%
扶助費	17,488	18,653	19,379	20,221	21,081	30.0%	23,590	30.7%
補助費等	3,779	3,772	6,546	7,148	7,273	10.4%	8,244	10.7%
繰出金(建設費以外)	8,843	9,497	7,026	7,240	7,466	10.6%	8,622	11.2%
支払利息 (うち一時借入金利息)	1,132 (6)	1,009 (5)	899 (3)	764 (3)	661 (3)	0.9%	746 (2)	1.0%
行政経常支出	56,679	58,505	59,377	61,351	63,064	89.8%	69,359	90.2%
行政経常収支	9,464	8,463	10,216	8,211	7,172	10.2%	7,538	9.8%
特別収入	636	560	786	2,808	652		720	
特別支出	32	2	43	5,756	10		27	
行政収支(A)	10,068	9,021	10,959	5,264	7,814		8,231	
■投資活動の部■								
国(県)支出金	1,363	1,868	1,563	2,022	2,671	75.4%	2,461	44.7%
分担金及び負担金・寄附金	12	0	3	15	15	0.4%	81	1.5%
財産売却収入	34	23	32	544	32	0.9%	470	8.5%
貸付金回収	1,589	1,941	2,013	798	669	18.9%	1,823	33.1%
基金取崩	165	87	13	418	155	4.4%	676	12.3%
投資収入	3,163	3,919	3,624	3,797	3,542	100.0%	5,510	100.0%
普通建設事業費	8,918	8,239	5,670	7,411	9,315	263.0%	11,099	201.4%
繰出金(建設費)	211	100	-	-	-	0.0%	121	2.2%
投資及び出資金	342	-	-	1,000	-	0.0%	344	6.3%
貸付金	1,569	1,928	2,000	784	656	18.5%	1,869	33.9%
基金積立	640	845	806	23	833	23.5%	716	13.0%
投資支出	11,680	11,111	8,477	9,218	10,805	305.1%	14,150	256.8%
投資収支	▲8,517	▲7,193	▲4,853	▲5,421	▲7,263	▲205.1%	▲8,640	▲156.8%
■財務活動の部■								
地方債 (うち臨時債等)	7,227 (4,376)	6,517 (4,121)	4,476 (3,100)	6,203 (2,934)	6,822 (2,700)	100.0%	7,522 (2,484)	100.0%
翌年度繰上充用金	-	-	-	-	-	0.0%	-	0.0%
財務収入	7,227	6,517	4,476	6,203	6,822	100.0%	7,522	100.0%
元金償還額 (うち臨時債等)	7,717 (2,205)	7,980 (2,381)	8,013 (2,354)	7,840 (2,618)	7,190 (2,709)	105.4%	7,563 (2,416)	100.6%
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	0.0%	-	0.0%
財務支出(B)	7,717	7,980	8,013	7,840	7,190	105.4%	7,563	100.6%
財務収支	▲490	▲1,463	▲3,538	▲1,637	▲368	▲5.4%	▲42	▲0.6%
収支合計	1,062	366	2,569	▲1,795	182		▲450	
償還後行政収支(A-B)	2,351	1,041	2,946	▲2,577	623		668	
■参考■								
実質債務 (うち地方債現在高)	70,483 (79,186)	65,792 (77,723)	58,481 (74,185)	59,021 (72,548)	57,701 (72,179)		67,898 (81,307)	
積立金等残高	17,071	18,216	21,433	19,243	20,103		17,269	

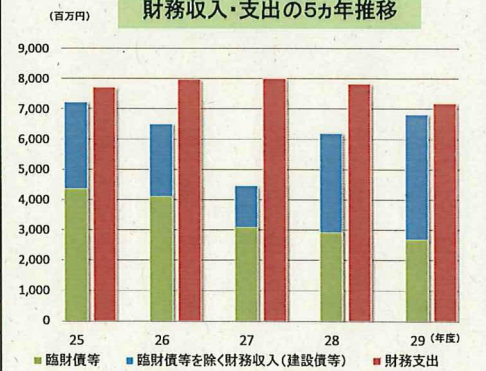
行政経常収入・支出の5ヵ年推移



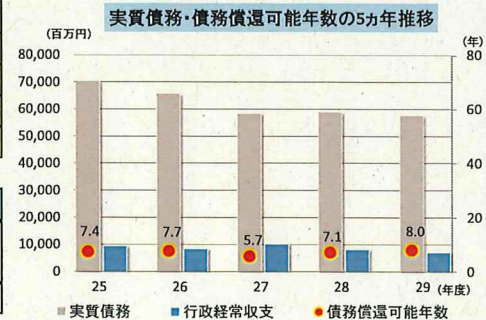
投資収入・支出の5ヵ年推移



財務収入・支出の5ヵ年推移



実質債務・債務償還可能年数の5ヵ年推移



※ 臨時財政対策債について、「臨時債」としている。